

電波ソーラー 取扱説明書・保証書

この度はお買い上げ頂き誠にありがとうございます。この【取扱説明書】は各モデル共通になっておりますので、デザインが異なる時計でも共通してご利用頂けます。お買い上げ製品に搭載していない機能の説明については、省いてご参照下さい。

⚠ 注意

安全にお使い頂く為にご使用前に【取扱説明書】と裏面の【お取扱上の注意】をよくお読み下さい。また、必要になった際に読み返せるよう保管しておいて下さい。

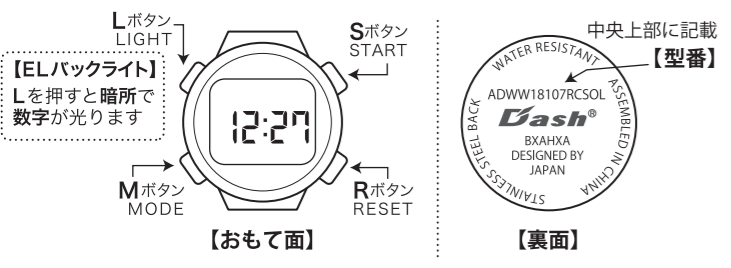
基本仕様

- ◆ 時計のガラス盤面・裏側の電池蓋などに透明な保護シールが貼ってある製品は、剥がしてからご使用下さい。
- ◆ 商品出荷時は工場で機能検査する為の【テスト電池】をセットした状態です。そのため、お買い上げ後に短期間で電池が切れる場合がございますので予めご了承下さい。なお、電池交換は保証の対象に含まれません。

- ◇ 標準電波の受信（福島局<40kHz>と九州局<60kHz>どちらか自動選局）電波受信後、時刻を自動修正（自動受信オン時・毎日AM3:00自動受信/時刻修正）※初期状態は自動受信オフ設定ですので【時刻の合わせ方A/B】の手順に沿って時刻を合わせ、自動受信オン/オフを設定してご使用下さい
- ◇ クォーツ精度：平均月±30秒（常温5〜35℃）
- ◇ 西暦・日付・時刻・曜日の表示 ◇ 12/24時間表示切替 ◇ アラーム、時報チャイム
- ◇ カウントダウンタイマー ◇ 第2時刻表示 ◇ ELバックライト
- ◇ クロノグラフモード（ストップウォッチ・ラップタイム、1/100秒から23時間59分59秒まで）

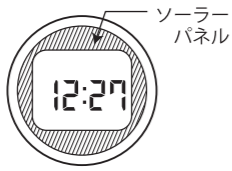
製品名 (パッケージ裏面上部に記載)	製品型番 (電池裏蓋に記載)	防水気圧	使用電池
Dash電波ソーラー R	ADWW (18107 / 18108 / 18109) RC SOL	10気圧	CR2025

時計仕様



【ソーラー発電機能】

盤面のソーラーパネルに日光や電気の光が当たると、リチウム電池駆動からソーラー発電に自動で切り替わり、リチウム電池を長持ちさせます。ソーラー発電した電力を充電・蓄電する機能ではありません。



液晶盤面・標準時刻画面

曜日 周波数

AM 時:分 秒

月-日 CHI ALM

型番【ADWW18107 RC SOL】
型番【ADWW18108 RC SOL】

- = アンテナマーク (左図は電波受信していない状態)
- 周波数= 受信電波 40kHz/60kHz
- 電波の受信成功時、アンテナ強度を表示 (受信後、手動で時刻変更すると強度表示は消滅)
- 曜日=月火水木金土日月…の順に表示
- AM/PM = 12時間表示の際、午前=AM/午後=PM
- ALM= アラーム設定オン時に表示
- CHI= 時報チャイム設定オン時に表示

曜日 周波数

AM 時:分 秒

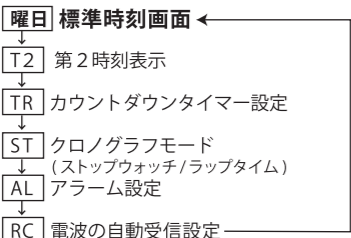
ALM CHI 月-日 秒

型番【ADWW18109 RC SOL】

- 【標準時刻画面の時】
- 右上 S ボタン
- 短く押す=時刻と西暦表示を切り替え
- 長く押す=電波の強制受信
- 右下 R ボタン
- 短く押す=12時間/24時間表示を切り替え
- 長く押す=時刻の手動設定

操作方法

【標準時刻画面】で左下Mボタンを押すと各種機能モードに画面が切り替わってきます。何度か押すと【標準時刻画面】に戻ってきます。画面を切り替えた際は盤面上部に、右図の四角□に入っている曜日や英字が表示されます。

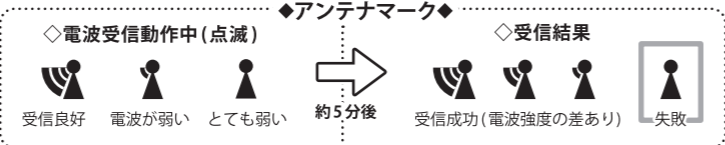


時刻の合わせ方【A】電波を受信する ※他モード機能使用中は受信できません

鉄筋コンクリートの建物内は電波が受信しにくいので、屋外や窓際などで受信して下さい。窓際でも雨天など受信が難しい時は【B】手動で時刻を合わせる をご参照下さい。

【電波の強制受信】

※初めてご使用の際などは、こちらの手順に沿って電波を受信して下さい。
① 標準時刻画面で右上Sボタンを約3秒押す(短く押すと時刻/西暦表示切り替え) ② 操作音が鳴り強制受信開始、アンテナマークが点滅 ③ 約5分後に受信終了(受信状況により長引く事もあり) ④ 受信できなかった時は窓辺など外に近い場所で再度強制受信を行い、それでも失敗する時は【B】手動で時刻を合わせる の流れで時刻を設定する



【電波の自動受信オン/オフ】

※毎日AM3:00に電波を自動受信します。受信時間頃には時計を窓辺など電波受信しやすい場所に置いて下さい。約5分間60kHzの受信を行い、失敗した時は引き続き約5分間40kHzの受信を行います。なお、自動受信オフにすると消費電力を抑える事が出来ます。
① 標準時刻画面で左下Mボタンを5回押して【RC・電波の受信設定】画面にする ② 右上Sボタンでオン/オフを切り替える ③ Mボタンを押して標準時刻画面に戻る

時刻の合わせ方【B】手動で時刻を合わせる

① 標準時刻画面で右下Rボタンを約3秒押すと「秒」が点滅して時刻合わせモードになる(短く押すと12時間/24時間表示切り替え) ② 右上Sボタンを押すと00秒になり、右下Rボタンを押すと「時」が点滅するので、右上Sボタンを押して数字を進めて合わせる ③ 同様に右下Rボタンで要素を切り替え右上Sボタンで数字を進めて設定する(秒→時→分→西暦→月→日の順番 / 曜日は自動設定) ④ 日付を設定し終わると点滅が止まり標準時刻として動作し始めるので、再度変更する場合はRボタンを3秒押す ※設定作業を途中で止める場合は左下Mボタンを押す ※作業の最中30秒操作を行わないと自動的に設定終了

第2時刻設定 (標準時刻をベースに時間差のある時刻を設定)

① 標準時刻画面で左下Mボタンを1回押して【T2・第2時刻表示】画面にする ② 右下Rボタンを約3秒押すと「時」が点滅するので右上Sボタンを押して任意の時間に合わせる ③ 再度RかMボタンを押すと設定終了、Mボタンを押して標準時刻画面に戻る ※「時」のみを設定変更可能、「分・秒」は標準時刻に自動同調 ※海外の電波を受信する機能ではなく、手動で時間を設定する機能

アラーム (スヌーズ機能付き)・時報 オン/オフ

【アラーム時刻設定】
① 標準時刻画面で左下Mボタンを4回押して【AL・アラーム設定】画面にする ② 右下Rボタンを約3秒押すと「時」が点滅するので右上Sボタンを押して任意の時間に合わせる ③ Rボタンを押すと「分」が点滅するので同様にSボタンを押して合わせる ④ 再度RかMボタンを押し設定終了、Mボタンで標準時刻画面に戻り「ALM」表示を確認
【アラーム音の一時停止】
① 設定時刻になるとアラーム音が鳴り、左上L以外のボタンを押すと音が止まり「ALM」表示が点滅する ② スヌーズ機能により5分後に再度アラーム音が鳴るのでボタンを押して音を止める(5回目は10分後、6回目からは5分後に鳴る)
【スヌーズ・アラーム音の完全停止】※2種類の方法があります
(A) アラーム音を30秒鳴らし続けると自動停止し、スヌーズも完全に止まる
(B) 後述の「アラーム設定オン/オフ」の手順でアラーム設定そのものをオフにする
【アラーム設定オン/オフ】
① 標準時刻画面で左下Mボタンを4回押して【AL・アラーム設定】画面にする ② 右上Sボタンを押して「ALM」表示を消すと設定オフ、表示させると設定オンになる

【時報チャイム音オン/オフ】

① 標準時刻画面で左下Mボタンを4回押して【AL・アラーム設定】画面にする ② 右上Sボタンを押して「CHI」表示を消すと設定オフ、表示させると設定オンになる ※「ALM/CHI」両方表示させるとアラーム・チャイム両機能オン、表示を消すとオフ

カウントダウンタイマー設定 (〇〇分後にアラームを鳴らす)

① 標準時刻画面で左下Mボタンを2回押して【TR・カウントダウンタイマー設定】画面にする ② 右下Rボタンを約3秒押すと「秒」が点滅するので右上Sボタンを押して任意の時間にする ③ Rボタンを押すと「分」が点滅するのでSボタンで合わせ、同様にRボタンを押すと「時」が点滅するのでSボタンで合わせ、Rボタンを押し設定終了(23時間59分59秒まで設定可能) ④ Sボタンを押すとカウントダウンスタート、再度Sボタンを押すと停止 ⑤ カウント00になるとアラームが鳴るので左上L以外のボタンを押して止める(カウント停止中にRを押すとリセットして設定時間に戻る) ※カウントダウン中に他の画面に移動してもカウントは継続し、00になるとアラームが鳴る

クロノグラフモード (ストップウォッチ・ラップタイム機能)

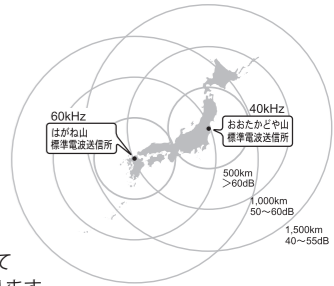
【ストップウォッチ機能】
① 標準時刻画面で左下Mボタンを3回押して【ST・クロノグラフモード】画面にする ② 右上Sボタンを押すと計測スタート、再度Sを押すとストップ(Sを押す度にスタート・ストップ・スタート…と繰り返す) ③ ストップ中に右下Rボタンを押すと計測リセット
【ラップタイム機能】
④ 計測中に右下Rボタンを押すと計測表示一時停止/ラップタイム表示(この間も計測は継続) ⑤ 再度Rボタンを押すと計測中タイムから再開 ⑥ ラップタイム表示中にSボタンを押すと計測中タイムを表示して計測ストップ ⑦ Rボタンを押すとリセット、RではなくSを押すと表示中のタイムから計測再開

電波時計・電波受信について

【電波時計の仕様】
電波時計は、正確な時刻情報をのせた標準電波を受信して、自動で時刻を修正する時計です。独立行政法人の情報通信研究機構(NICT)によって運用されている標準電波(JJY)の日本標準時(UT)を使用しています。そのため日本以外の国や電波受信が難しい場所では電波時計としての機能はご使用できません。(近隣国の一部地域では日本の標準電波を受信する事もありますが、安定した使用は難しいためお勧めできません) 送信所は【福島局/おおたかどや山標準電波送信所(40kHz)】と【九州局(佐賀県と福岡県の県境)/はがね山標準電波送信所(60kHz)】の2箇所、日本全国をほぼカバーしています。標準電波についての詳細は情報通信研究機構のウェブサイトをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)
標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守点検や悪天候で一時的に中断されることもあります。また、電波受信する際の製品の置き場所や周辺環境によっても受信が難しい場合があります。

【受信が困難な場所】

- 高圧電線・ラジオ・テレビの送信所付近
- 鉄筋・鉄骨のビルや建物内、地階
- テレビ・パソコン・電話などの家電や通信機器の側
- 空港・工事現場や交通量の多い場所
- 自動車・電車・飛行機の中、高速移動中
- 雷雨などの悪天候



建物内でも窓際やベランダで、送信所に対して時計の12時側を向けると受信状態がよくなります。電波受信が失敗して現在時刻と全く違う時刻が表示されてしまった場合は、手動で時刻を設定してクォーツ時計としてご使用下さい。

保証について

- ◆ 正常な状態でご使用中に万一故障が発生した場合は、お買い上げ日より1年間無料で保証させていただきます。
- ◆ 保証対象は時計本体のみで、バンド・電池交換は保証外となります。(但し、バンドの製品不良につきましては保証対象となりますが、通常使用劣化の場合は保証対象外です。)
- ◆ 製品検査の結果、正常な動作を確認できた場合は現品を継続してご使用頂き、不良が見つかった場合は交換致します。
- ◆ 文字盤・針・ムーブメントなどの一部を代替部品で交換、または外観の異なる別製品との交換になる場合もございますのでご了承下さい。
- ◆ 製品と保証書をお買い上げ店舗にご呈示下さい。

保証期間内でも有料保証になる場合

- ◆ 中古品や転売・ネットオークション・フリマアプリ経由でご購入の場合
- ◆ 保証書が無い、または保証書にお買い上げ店名・お買い上げ年月日のご記入が無い、字句を訂正している場合
- ◆ お客様ご自身による製品の分解・改造、誤った使用・不注意による製品水没・落下による故障
- ◆ 火災・落雷・水害などの天災、異常電圧による故障
- ※ 修理に関わる運賃・諸掛かり費用はお客様にてご負担願います。

⚠ 注意

【電池の取扱いの注意】
○ 電池寿命が切れた時はお近くの時計販売店にて、指定の電池と交換を行って下さい。
○ 誤飲の危険があるので、電池は幼児の手の届かない場所に置いて下さい。
【時計使用時の注意】
○ 乳幼児を抱いたり激しい運動・作業を行う時は、事故防止のため時計を外すなど十分ご注意ください。
○ 時計が高温になるサウナなどの場所では火傷の恐れがあるため、絶対に使用しないで下さい。
○ 時計・バンドは清潔な状態にしてご使用下さい。サビ・汗などで汚れた状態を使用すると、かゆみ・かぶれが生じる場合があります。
○ 金属・皮革アレルギーなど異常を感じたら、ただちに使用を止めて医師の診断を受けて下さい。
【時計のお手入れ方法】
○ ガラスの汚れや汗などの水分は柔らかい布で拭き取って下さい。
○ プラスチックやバンド部分は濡った布で汚れを取って下さい。洗剤やアルコール等は変色・変質の恐れがあるので使用しないで下さい。
【使用環境・保管時】
○ 故障・怪我の原因になるので分解しないで下さい。
○ 床面に落下、机や壁にぶつけるなど強い衝撃は故障・破損の原因になります。
○ 高温・低温、極端に温度差のある場所では機能低下・停止する事があります。常温(5℃～35℃)以外の温度下で長時間保管すると、電池が漏液したり電池寿命が短くなる事があります。
○ バッグの留め金や磁気健康器具などの磁石・磁気類に近づけると故障や機能低下の原因になります。
○ クォーツウォッチ内蔵の部品は静電気に弱いため、強い静電気を受けると機能低下する事があります。
○ 化学薬品類等に近付けたり、ガスの中での使用は避けて下さい。水銀またはシンナー・ベンゼンなどの溶剤及びそれらを含むマニキュアや接着剤、ガソリンなどが付着すると変色・溶解・変質の恐れがあります。
○ 長期間ご使用にならない時は、汗・汚れ・水分などを拭き取り、高温・低温・多湿な場所を避けて保管して下さい。
○ 寿命切れの電池を長期間入れたまま放置すると、漏液により損傷する場合があります。
○ 直射日光や強いライトなどに当たる場所での長時間のご使用・保管は色焼けの原因となります。
○ 上記の事項に注意してお取り扱い頂き、また「注意」が理解できない幼児・子供の手の届く場所に製品を置かないで下さい。
○ 製品が破損した場合、怪我の恐れがあるため取り扱いにご注意下さい。

万一、製品により生じた障害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社では一切責任を負えませんので予めご了承下さい。

【防水について】

海やプールでの遊泳、水仕事・洗車時等は瞬間的に強い負荷がかかる事があるため、製品記載の水圧負荷を越える事があるのでご注意ください。塩分は錆・腐食の原因となるので、海水が付着した時は真水で洗って下さい。蛇口の水を直接かけると水圧が高すぎる為、汲んだ水で洗いきれぬ水気を拭き取って下さい。水中や濡れた手で時計を操作すると、故障・結露に繋がるため、防水の度合いに関わらず絶対に操作しないで下さい。水がかからなくても時計内部に多少の湿気があるので、パッキンの劣化や外気と時計内部の温度差によりガラス面が曇る場合があります。一時的な曇りは製品不良ではありませんが、長時間消えない場合はお買い上げ店かサポートセンターにご相談下さい。